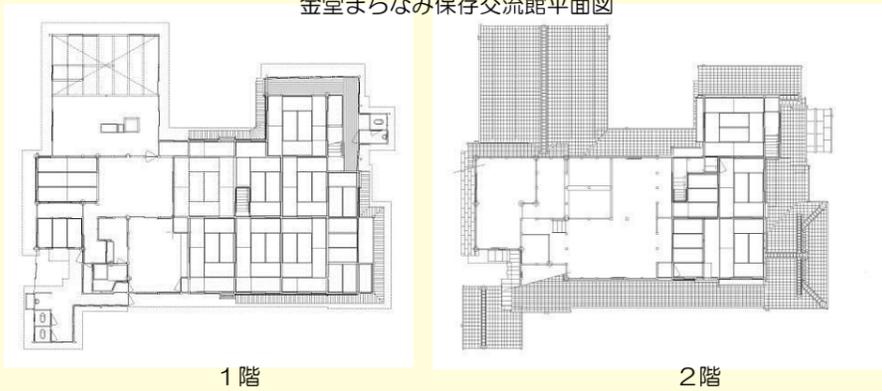


金堂まちなみ保存交流館平面図



1階

2階

**開館時間** 午前10時30分～午後4時30分  
**休館日** 月曜日・火曜日・祝日の翌日・年末年始  
**入館料** 無料  
**交通案内** JR能登川駅から近江バス「八日市駅行」金堂下車すぐ  
 (名古屋・大阪方面) 名神八日市 I.C.より約15分 } R8(交差点)  
 (大阪方面) 名神竜王 I.C.より約20分 } 北町屋から  
 (名古屋方面) 名神彦根 I.C.より約30分 } 車で約3分  
**所在地** 〒529-1405 滋賀県東近江市五個荘金堂町904  
**TEL/FAX** 0505-801-7101  
**保存会HP** <http://members.e-omi.ne.jp/kondo-machinami/>  
**Eメールアドレス** kondo-machinami@e-omi.ne.jp



# 金堂まちなみ保存交流館

## Kondo Machinami Hozon Kouryukan



東近江市教育委員会 歴史文化振興課  
 特定非営利活動法人 金堂まちなみ保存会

この建物は、当初は六間取の平屋として建てられ、明治6年(1873)に2階部分が増築されました。

その頃に住んでいたのは、金堂地区を代表する近江商人・外村一統の自家である外村与左衛門家から分家した外村宗兵衛です。

宗兵衛は、京都に仕入れ店を持ち、関東地方を商圏とする呉服商で、幕末・維新期には金堂でも屈指の大商人として活躍しました。

万延元年(1860)、金堂の大城神社が曳山を新調するにあたり、建築費の大半を負担したため、その曳山は「宗兵衛山」と称されるほどでした。



宗兵衛山

その後、屋敷は中江富十郎家の所有となりました。中江家は、代々呉服・小間物商を営み、富十郎(三男)は、三代目勝治郎(長男)、久次郎(次男)、準五郎(五男)の兄弟と共に、昭和8年(1933)、京城(現在のソウル)に三中井百貨店を完成させました。

最盛期には、朝鮮から中国にかけて約20店舗を有する大資本家となり、「百貨店王」と呼ばれました。しかし、敗戦と共に会社は瓦解し、戦後はこの場所で、「ちどり屋」という屋号で食料雑貨店や料理の仕出しを経営していました。



旧三中井百貨店 釜山支店

東から北に広がる池泉回遊式の庭は、昭和初期に、地元の庭師・花文によって作庭されました。

かつて、池の水は、表の水路から引き込めるようになっており、昭和30年代までは錦鯉が飼われていました。



その後、長く空き家となっていたのですが、平成17年に旧五個荘町が土地を買い取り、合併後は東近江市へと引き継がれ、約4年間保存修理が行われました。

そして、平成20年11月29日、「金堂まちなみ保存交流館」として開館し、NPO法人金堂まちなみ保存会が中心となって、観光案内や伝統的建造物の修理相談業務などを行っています。

これからも、「おもてなしの場」「憩いの場」「学習の場」として、魅力ある金堂のまちなみを守り伝えていきます。

